

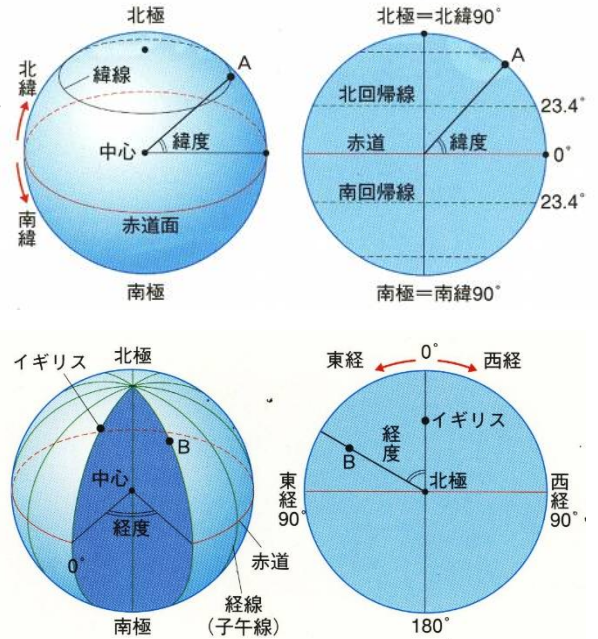
(25…?代。約7千年前～現代)に入ると、ほ乳類が栄え、生物の種類も多くなっています。

10万年前には現代人と変わらない脳の大きさをもつ旧人類のネアンデルタール人が現れ、4万年前には、ほぼ現代人と同じである新人類の(26…?人)が出現し、ネアンデルタール人は絶滅しています。

地球上の位置

夏至の日に太陽が真上にくる北緯23.4度の緯線を(27…漢字で?線)、
 冬至の日に太陽が真上にくる南緯(28…小数第1位までの数字で)度の緯線を南回帰線といい、太陽はこの2つの線の間を1年かけて往復しているように見えます。

世界の基準は経度0度0分0秒の経線が通る(29…漢字で?子午線)です。ここより東を東経、西を西経として180度までの範囲で表します。

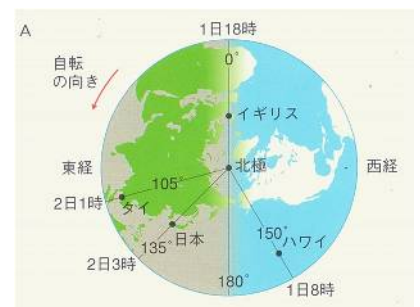


東経135°の兵庫県(30)市を通る線が日本の標準時子午線です。
 ここに太陽が南中した時刻を正午と決め、これを日本全国に共通する(31…漢字で?時)としています。そのため、東経139°の東京での太陽の南中時刻は(30)市よりも早くなり、東京での太陽の南中時刻は(32…24時制で○:△と答える)くらいになるのです。

東京が10月14日13時のとき、
 東経105°(タイ)…タイでの時刻は日本よりも(33)時間ほどおくれ、10月(34…何日・何時の順に数字で)になります。

経度0°(イギリス)…イギリスでの時刻は日本のそれより(35)時間ほどおくれ、10月(36…何日・何時の順に数字で)になります。

西経150°(ハワイ)…ハワイでの時刻は日本のそれより(37)時間ほどおくれ、10月(38…何日・何時の順に数字で)になります。



見かけの動きで、北半球の太陽は南の空を(39…右 or 左で)回りに、
南半球の太陽は北の空を(40…右 or 左で)回りに動いているように見えます。

北極星から見た地球は、西から東へと(41…右 or 左で)まわりに
自転しているため、昼と夜が交互におとずれます。

太陽が南中したときを正午の時刻と決めていますから、
右の地球のC地点は(42…夕方か明け方で)になり、太陽は
(43…4方位で)の空に見えるわけです。

こうした太陽の1日の見かけの動きを太陽の(44)運動と
いい、1年の見かけの動きは(45)運動といいます。

日の出が6時47分、日の入りが17時39分のとき、
昼の長さは、(46…?時間?分)になり、また、南中時刻は
(47…24時制で○:△と答える)になります。

